

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 5年 3月 2日

事業所名 Smile Kid'sかたしま

保護者等数 (児童数) 22 回収数 21 割合95%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	1			・十分あると思います。 ・室内をあまり見たことがないので、よく分かりません。	見学时や契約時などにお伝えしていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	21					
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	2		4	・建物の中を見ることがあまりないので、よく分からないです。 ・通所時の子どものルーティーンができており、先生もそれを理解してくれているので助かります。	見学时や契約時などにお伝えしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20			1	・いつも先生方が敷地内を清掃してくださっているのでもきれいです。	今後も、衛生面・環境設定など、十分に気を付けていこうと思います。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	21				・子どもの特性に合った支援計画が作成されています。 ・定期的にアンケート調査もあり、内容を取り入れてもっています。	定期的に保護者のニーズを伺い、不明な点はいつでも問い合わせていただけるようにしていきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21				・療育で行っていることが、家庭での生活にもつながり、できることが増え、ありがたいです。 ・支援の内容などを具体的に書かれているので、どうアプローチすればよいか分かりやすいです。	保護者や職員間で共通理解を図りやすいよう具体的な支援内容を設定していきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21					
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	21				・毎度違う活動で子どもが飽きずに活動を楽しんでいます。 ・活動内容が豊富で、活動に使うツールも手作りの物も多く、すごいです。	いろいろな活動に取り組みながら、個々に合った支援をしていきたいです。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	18	2		1	・隣の片島保育園の園庭で一緒にいることがあるようで、子どもが刺激を受けていると聞きました。	感染症の問題もあるので、対策などを考慮しながら、考えていきます。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21				・入所時に、説明を受けています。	利用開始前などにしっかりお伝えしていきます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	20			1	・計画書を作成してもらって、確認をしています。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	17	1		3	・聴覚過敏がどんなものか教えていただいたり、遊びへの誘い方・タイミングなど、こちらが負担にならないような伝え方をしてくれます。 ・毎回のコメントの中に、自宅での声掛けや問いかけ方など、参考になることが多いです。	子どもの特性や家庭でできる取り組みなどを分かりやすく伝えていきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	19	1	1		・毎回お迎えの際、その日の活動内容を報告していただけます。 ・送迎を頼んでいるので、直接話をする機会がないです。 ・何気なく子どもが言った発言も聞いてもらっていて、報告していただいています。	送迎時の話だけでなく、連絡ノートなど利用しながら、保護者と共通理解得られるようにしていきます。

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動中の写真も添付して下さるので、どんなことをしていたのかよく分かり、嬉しいです。</li> <li>・毎回コメントを細かく記入していただいています。</li> </ul>	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	9	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会は開催されていないと思います。</li> <li>・仕事をされていて、時間を割くことができないため、そのような会が開催されると、かなり困ります。</li> <li>・他の保護者の方に我が子の障害の事をあまり知られたくないので保護者会は無いです。</li> </ul>	保護者の皆様のご意見を取り入れながらも、皆様の負担にならないように考えていきたいです。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの気持ちが不安定なことを報告したら、他の先生方にも共有していただき、落ち着いて活動ができるように配慮していただきました。どんな些細な事でも共有なされています。</li> <li>・相談したことは、それ以降も気にしてもらっています。</li> <li>・現時点では、こちらからそういった申し入れはしていません。</li> </ul>	保護者の皆様の相談等にも対応できるように考えていきたいです。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	1		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お迎えの際、毎回いただいています。</li> </ul>	
	18	定期的に会報やホームページで、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18	1		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会報などはないですが、毎回状況を報告をさせていただいており、情報伝達はできていると思います。</li> </ul>	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	19	1		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注意されていると思います。</li> <li>・他の利用者の物が入っていたことがありました。</li> </ul>	取扱いについて十分に注意していますが、今後も、より一層注意を払っていききたいと思います。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	15	1		5		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	2		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練が定期的にあり、地震や火事の時の行動の確認をしてくれています。</li> </ul>	訓練の様子は、今後も報告していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	21				<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日行きたいくらい楽しみにしています。</li> <li>・毎度楽しみに行き、迎えの時には「楽しかった」と言っています。</li> <li>・療育のある日が1週間の内のありがたい日になっています。子どもも楽しそうで良かったと思います。</li> </ul>	今後も、子どもたちが楽しんで通所できるようにプログラムなど考えていきたいです。
	23	事業所の支援に満足しているか	21				<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの事をとても大切に思ってくださいなのが伝わるので、安心して預けられます。とても満足しています。</li> </ul>	

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。